

平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	科学技術外交	担当部局庁	軍縮不拡散・科学部／総合外交政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	別紙参照	担当課室	国際科学協力室／宇宙室	室長 高橋良明 室長 西永知史			
会計区分	一般会計	政策・施策名	基本目標Ⅱ：分野別外交 具体的施策Ⅱ-1-9：科学技術・宇宙に係る国際協力の推進				
根拠法令(具体的な条項も記載)	別紙参照	関係する計画、通知等	別紙参照				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術外交の一環として、本事業を通じて、我が国の優れた科学技術に関する国際的なブランド・イメージの確立・強化及び、将来の二国間科学技術協力に向けた環境醸成を目指す。また、新成長戦略をも念頭に置いて、産業界・科学技術コミュニティ・外交当局の連携を強化しつつ、日本企業等が有する優れた科学技術の国際的なビジネス展開を支援することにより、我が国の科学技術力の更なる向上及び経済成長につなげる。また、宇宙分野のルール作り及び宇宙ガバナンスの構築に貢献する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	平成24年度は、全在外公館に科学者の派遣及び講演会開催の募集を行い、内部審査を経て、欧州地域(デンマーク、スウェーデン、フィンランド)、アフリカ地域(南アフリカ)、アジア地域(タイ、マレーシア)、南米地域(エクアドル、ペルー、コロンビア)への派遣を決定・実施。マレーシアの講演会では、地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)関係者と共催の形をとり、SATREPS事業への現地関係者の関心を高めることにも貢献した。また、19回アジア太平洋地域宇宙機関会議(平成24年12月11～14日、マレーシア)の機会に、当省職員1名を出張させ、同地で宇宙環境保全に関するワークショップを開催し、アジア太平洋地域における問題意識の共有と啓発を行った。本ワークショップの成果は、「宇宙活動の長期的持続性」を審議しているCOPUOS科学技術小委員会にインプットされた。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算状況	当初予算	2	11	8	4	3
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	2	11	8	4	3
	執行額	1	7	6	—	—	
執行率(%)	71.8%	67.6%	63.6%	—	—		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	グリーンイノベーション、材料工学、防災、宇宙環境に関わる科学者・技術者等を派遣し、講演会等を開催。欧州地域134名、アフリカ地域65名、アジア地域425名、南米地域686名、計1310名の参加者に対し、日本の先端科学技術に関する現状と未来への活動や実績を効果的に印象づけることができた。講演会後のレセプションでは、関係者間の情報収集や意見交換、人脈形成の機会を提供した。	成果実績	参加人数	260	1,335	1310	500
		達成度	%	108%	299%	262%	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	グリーンイノベーション、材料工学、防災、宇宙環境に関わる科学者・技術者等を派遣し、欧州地域、アフリカ地域、アジア地域及び南米地域に於いて計15回の講演会等を実施した。講演会後レセプションを開催した。	活動実績(当初見込み)	回	3 (3)	16 (10)	15 (6)	— (5)
		算出根拠	5,067,045円(総額)／15回(講演回数)				
単位当たりコスト	337,803(円/回)						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	科学技術外交推進専門家交流関連経費	4	3	レセプション開催地、回数及び参加者数の見直しを行ったことによる減額。			
	計	4	3				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業を通じて我が国の優れた科学技術力を事業対象国の政策決定者、専門家、一般市民等にアピールすることにより、我が国の最先端の科学技術への認識を深め、我が国との二国間科学技術協力関係の発展に寄与するとともに、我が国企業の海外でのビジネス展開の支援をはかり、我が国の経済的安定にも貢献する事業であることから、優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	全在外公館を対象に案件募集を行い、講演会開催場所やレセプションに係るケータリング業者の決定も含め内部審査の上、優良かつ安価な案件を採択していることから、支出先の選定・競争性は確保されている。右案件が我が国の科学技術力の更なる向上・経済成長につながることで、コスト削減や経費支出が合理的に行われるよう派遣講師の人選及び講演場所・巡回ルート等を決定していることから、支出の水準の妥当性、受益者との負担関係などの面で全てにおいて真に必要なものに限定されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	各講演会の参加者の人数(約100名)と専門性(科学者、専門家の動員)のバランスをとりつつ、着実に目標を達成している。また、参加者数だけを追うのではなく、我が国のプレゼンス向上、情報収集や意見交換、人脈形成の機会を提供することも重視しており、講演会の回数といった活動実績も向上している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成24年行政レビューにおいて、事業及び単位が見直しによる予算減との指摘を受けて、派遣回数を5回から4回、講演会1回あたりの単価を約50万円から約30円に縮減した。本事業を通じた日本の「国際的プレゼンスの強化」「国際的なブランドイメージの確立」への貢献は科学技術イノベーションを重視する政府の方針と合致したものであり、日本の優れた科学者・技術者を海外に派遣し先端科学技術を紹介する講演会等をできる限り多くの場所で効果的に開催すべく、引き続き旅費の効率的な執行の観点から開催地の近接性や、日程の連続性を考慮しつつ派遣を行う方針である。宇宙の開発利用は各国の軍事・安全保障のほか経済社会にも大きな利便性をもたらしており、高い関心を集めているが、国際的な宇宙関係の会議の機会を利用してワークショップを開催するなど、効率的に開催する努力を払っている。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容改善	引き続き適正かつ効率的な事業実施に努める。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	会議費などを見直すことにより減。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	310	平成23年	299	平成24年	217, 新24-13

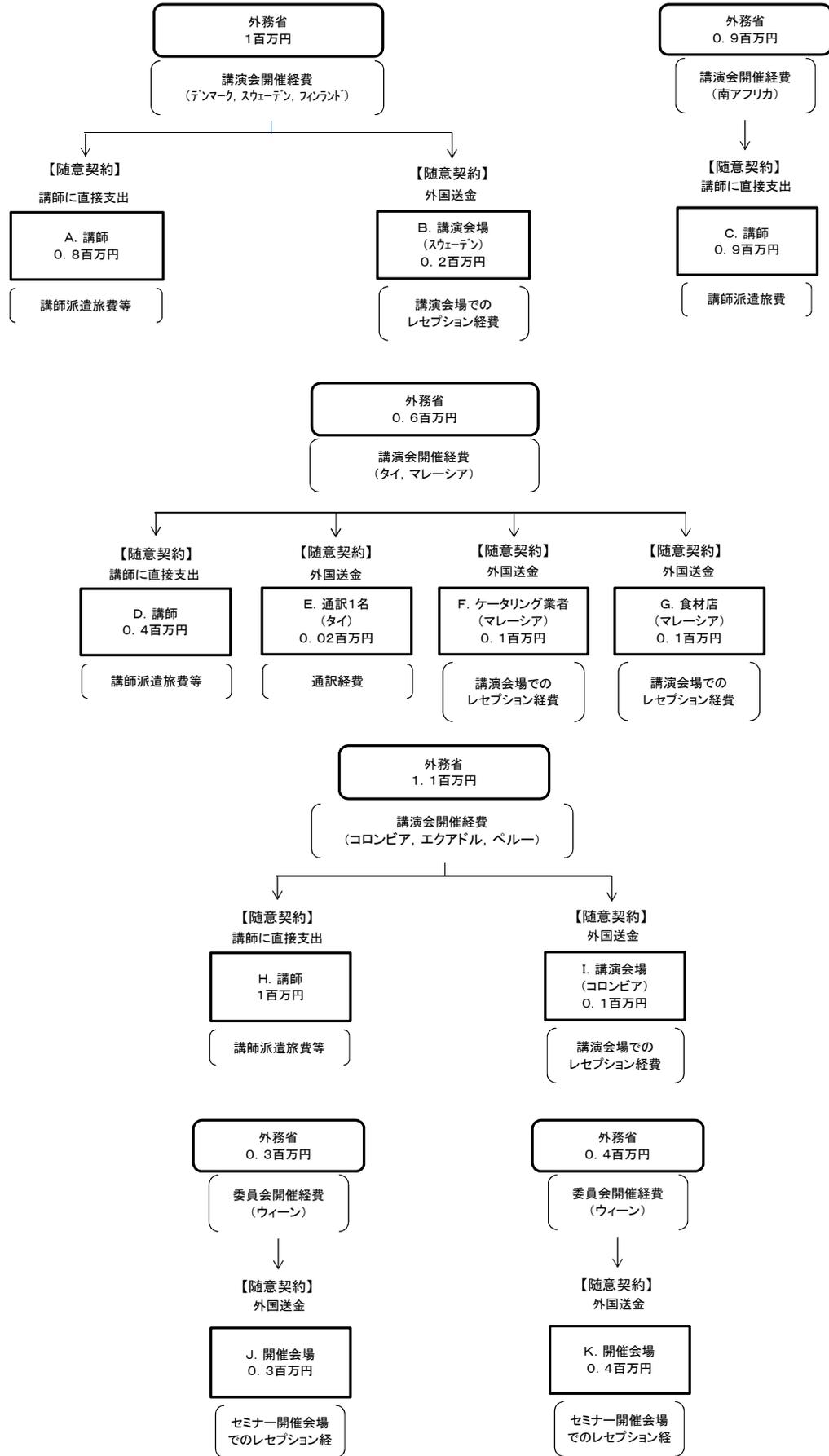
(別紙)

個別事業名	科学技術外交及び宇宙外交推進専門家交流関連経費		担当部局庁	軍縮不拡散・科学部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始		担当課室	国際科学協力室		室長 高橋良明	
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標Ⅱ：分野別外交 具体的施策Ⅱ-1-9：科学技術・宇宙に係る国際協力の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項二		関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定) 「第4期科学技術基本計画」 (平成23年8月19日閣議決定)等			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		当初予算	2	11	5	4	3
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
	計	2	11	5	4	3	
	執行額	1	7	5	—	—	
執行率(%)	71.8%	67.6%	84.5%	—	—		
平成25・26年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	文化人等派遣旅費	2	2				
	会議費	2	1				
	謝礼	0.1	0.1				
	計	4	3				

個別事業名: 科学技術及び宇宙外交推進専門家交流関連経費

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



I.			K.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
J.					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名: 科学技術及び宇宙外交推進専門家交流関連経費

支出先上位10者リスト

A. 講師派遣

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	講演会講師派遣旅費	0.8	随意契約	—
2	個人A	講演会講師謝礼金	0.1	随意契約	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. レセプション経費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	IVAs KONFERENSCENTER	レセプションに係るケータリング及び会場借料	0.2	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C. 講師派遣

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人B	講演会講師派遣旅費	0.9	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D. 講師派遣

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人C	講演会講師派遣旅費	0.4	随意契約	—
2	個人C	講演会講師謝礼金	0.1	随意契約	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E 通訳経費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人D	講演会用通訳(日本語→タイ語)	0.02	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F レセプション経費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	HNF CATERING SDN. BHD.	ケータリング業者	0.1	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

G レセプション経費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	FOCAL MARKETING SDN. BHD.	レセプション用食材費	0.03	随意契約	—
2	JMG TRADING SDN. BHD.	レセプション用食材費	0.01	随意契約	—
3	AEON CO. (M) BHD	レセプション用食材費	0.01	随意契約	—
4	HOCK CHOON SUPERMARKET	レセプション用食材費	0.01	随意契約	—
5	ISETAN KUALALUMPUR	レセプション用食材費	0.00	随意契約	—
6					
7					
8					
9					
10					

H 講師派遣

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人E	講演会講師派遣旅費	1	随意契約	—
2	個人E	講演会講師謝礼金	0.1	随意契約	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

I レセプション経費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	SISTEMAS AUDIOVISUALES LTDA.	レセプションに係るケータリング及びボーイ代	0.1	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

J レセプション経費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	VIENNA INTERNATIONAL CENTRE	レセプションに係るケータリング代	0.3	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

K レセプション経費

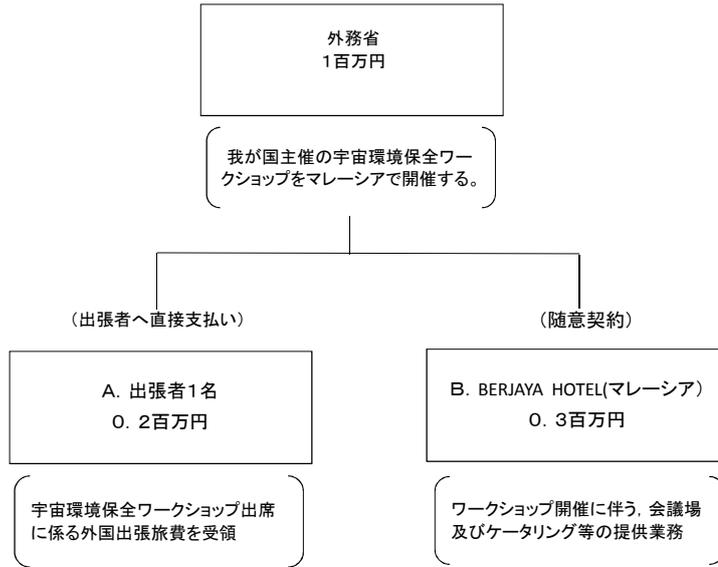
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	VIENNA INTERNATIONAL CENTRE	レセプションに係るケータリング代	0.4	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(別紙)

個別事業名	宇宙環境保全ワークショップ		担当部署	総合外交政策局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始・終了		担当課室	宇宙室	室長 西永 知史		
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標Ⅱ：分野別外交 具体的施策Ⅱ-I-9：科学技術・宇宙に係る国際協力の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	宇宙基本計画 (平成21年6月2日宇宙開発戦略本部決定)			
実施方法	■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	—	—	3	—	—
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
	計	—	—	3	—	—	
	執行額	—	—	0.5	—	—	
執行率(%)	—	—	19.3	—	—		
平成25・26年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	計						

個別事業名： 宇宙環境保全ワークショップ関係経費

※平成24年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

個別事業名： 宇宙環境保全ワークショップ関係経費

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	ワークショップ出席に係る外国出張旅費を受領	0.2	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	BERJAYA HOTEL	会議場及びケータリングの提供業務	0.3	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					